

自然共生研究センター

環境保全



1 施策概要

河川・湖沼の自然環境の保全・復元のための基礎的・応用的研究を実施し、その結果を広く普及するため、木曾三川派川地区に、世界最大級の実験水路である延長約800mの水路を有する自然共生研究センターを開設し、様々な分野の研究者と連携を図りながら研究を進めています。また近年の水辺環境に対する関心の高まりを受け、研究成果より得られた科学的データをを用い、人と自然との共生をテーマとした環境教育プログラムの開発・実施にも力を入れています。



■河川・湖沼の「空間」「水」「生物」「人」の相互関係性の理解



■空空間の形状・流量・流速などをコントロールできる実験河川



■魚類調査の様子



■環境教育プログラムの開発と実施

河川生態学術研究

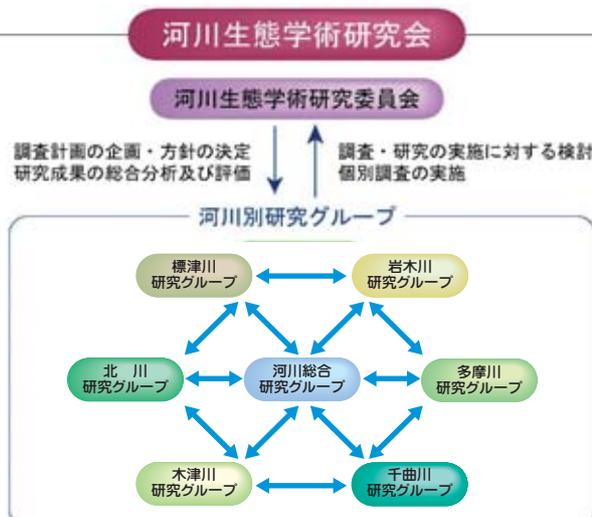
環境保全



1 施策概要

生物学・生態学の各分野や河川工学の分野の研究者と国土技術政策総合研究所、独立行政法人土木研究所の研究者などが連携して、生態学的な観点より河川を理解し、川のあるべき姿を探ることを目的として、多摩川、千曲川、木津川、北川、標津川、岩木川を具体的なフィールドとし、研究を実施しています。

【実施体制】



■木津川（京都府）

